

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2005-535328(P2005-535328A)

【公表日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-046

【出願番号】特願2004-527772(P2004-527772)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	35/26	(2006.01)
C 12 Q	1/02	(2006.01)
C 12 Q	1/68	(2006.01)
C 12 N	5/06	(2006.01)
C 07 K	7/08	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	35/26	
C 12 Q	1/02	
C 12 Q	1/68	A
C 12 N	5/00	E
C 07 K	7/08	

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月28日(2006.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

減弱化T細胞を含有する自己T細胞ワクチンであって、該減弱化T細胞は、一以上のエピトープに対して反応性であり、配列番号1～6が該エピトープを構成する、ワクチン。

【請求項2】

配列番号1～6のみが、前記エピトープを構成する、請求項1に記載のワクチン。

【請求項3】

本質的に、配列番号1～6に対して反応性であるT細胞から構成される、請求項1に記載のワクチン。

【請求項4】

多発性硬化症の処置のための、請求項1に記載のワクチンを作製する方法であって、以下：

(a) 該ワクチンを用いて処置されるべき患者から単離されたT細胞を含むサンプルを提供する工程；

(b) 一以上の多発性硬化症に関連する抗原またはその誘導体の存在下で、T細胞を含むサンプルをインキュベートする工程；

(c) 該工程(b)の細胞を分裂促進因子を用いて刺激する工程；および

(d) 該工程(c)の細胞を不活性化する工程

を包含し、該一以上の多発性硬化症に関連する抗原が、配列番号1～6を含む、方法。

【請求項 5】

前記工程（c）の一以上のT細胞が、前記工程（c）の細胞から選択され、該工程（c）のT細胞が、CD69、CD4、CD25およびHLA-DRからなる群より選択される一以上の第一マーカーと、IL-2、IFN、TNF、IL-5、IL-10およびIL-13からなる群より選択される一以上の第二マーカーとを発現する、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

前記一以上の多発性硬化症に関連する抗原が、配列番号1～6から構成される、請求項4に記載の方法。

【請求項 7】

前記T細胞を含むサンプルが、前記患者の末梢血から得られる、請求項4に記載の方法。

【請求項 8】

前記T細胞を含むサンプルが、前記患者に由来する脳脊髄液から得られる、請求項4に記載の方法。

【請求項 9】

前記T細胞が、放射線照射または化学的な処理により不活性化される、請求項4に記載の方法。

【請求項 10】

多発性硬化症の処置を必要とする多発性硬化症患者を処置するための、請求項1に記載のワクチンを含有する組成物。